

## 議 事 録

名 称	令和元年度第1回深川市総合教育会議
開催日時	令和元年12月25日(水) 開会 午後3時/閉会 午後3時56分
場 所	深川市役所 市議会第1委員会室
議 題	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 議題 (1) 学力向上の取り組みについて (2) 令和2年度教育予算について(意見) 4. その他
出席委員	山下市長 早川教育長 宮田教育委員 定岡教育委員 響田教育委員 倉本教育委員
欠席委員	なし
説明員	小林教育部長 江刺学務課長 荒井生涯学習スポーツ課長 伊藤学務課主幹 佐藤学務課課長補佐 久保田生涯学習スポーツ課長補佐 鈴田学務課学校教育係長 山田生涯学習スポーツ課社会教育係長 西野生涯学習スポーツ課文化・スポーツ係長
事務局	吉村企画総務部長 三浦企画総務部次長 黒田企画財政課長補佐 山崎企画係長

会議の概要(発言の趣旨)	
発言者	議題・発言・結果等
吉村部長	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまから、令和元年度第1回目深川市総合教育会議を開催します。</p> <p>私は、事務局を担当しております、企画総務部長の吉村と申します。</p> <p>議事に入るまでの間、進行役を努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。それでは、最初に山下市長より挨拶をお願いします。</p>
山下市長	<p>皆さん、年末の暮れもかなり押し詰まりまして、お忙しい中だと思いますけれどもやりくりいただきまして、今日の深川市総合教育会議にご出席をいただきました。厚くお礼を申し上げたいと思います。ちなみに昨年は深川市教育大綱の改定についてと、それからコミュニティスクール、そして全国学力・学習状況調査についての議論を交わしていただいたところでもあります。ことしは議題といたしましては、既にお手元にレジュメが配られていると思いますが、学力向上の取り組みについてと、それから令和2年度教育予算の2点についてご議論を賜りたいと思っております。どうかよろしくお願ひいたします。</p>
吉村部長	<p>ありがとうございました。それでは、「深川市総合教育会議運営要綱」の規定により、これからは山下市長が議長として進行させていただきます。</p>
山下市長	<p>それでは、学力向上の取り組みについて議題にしたいと思ひます。まず教育委員会事務局から内容の説明をお願いします。</p>

会議の概要（発言の趣旨）

発言者	議題・発言・結果等
江刺学務課長	<p>資料1をご覧ください。中央に「令和元年度深川市の学力向上の取り組み」としておりまして、このタイトルを挟みまして、上側は道教委の支援を得て取り組んでいる事業で、下側が本市独自の取り組みを記載しています。</p> <p>まず、上側の道教委からの支援による事業ではありますが、ひとつは「加配教員の配置」です。</p> <p>教職員定数は、児童生徒数や学級数、特別支援学級の設置状況に応じて配置する法定の基礎定数と、教育上の特別の配慮などの目的で予算措置により配置する加配定数とで成り立っています。このうち、加配については、毎年、学校毎に加配計画を立てて道教委へ希望申請し認められたものが配置されます。</p> <p>このため、配置の状況は毎年変わりますが、今年度は、学力向上に関する加配教員としましては、複数の教員で授業を行うチームティーチング（TT）や児童生徒の理解や習熟の程度に応じて教室を分けて指導する習熟度別指導を行う指導方法工夫改善に、深川小学校、深川中学校、一巳中学校の3校へ計3名が配置され、主に算数・数学の少人数指導に取り組んでいます。</p> <p>また、市内6つの小学校3・4年生の外国語活動と5・6年生の外国語のすべての授業を担当する専科指導加配として計2名が配置され、ひとり3校ずつ分担して巡回指導を行っています。</p> <p>道教委からの支援による事業の二つ目は、「退職教員等外部人材活用事業」であります。退職教員等の地域人材を活用し、非常勤講師として配置することで、基礎・基本の確実な定着や学習習慣の改善など、児童生徒の学力向上に取り組むものです。</p> <p>今年度は、4月下旬から深川小学校に配置となり、主に低学年の午前中の授業支援にあっています。また、12月からは、北新小学校に追加配置され、TT等の授業サポートにより、個に応じた指導の充実を図るとともに、若手教員の指導力向上に取り組んでいます。</p> <p>次に下側の市教委としての取り組みではありますが、「人的取組」として、市費配置教諭1名を一巳中学校に配置しているほか、外国人英語指導助手（ALT）を、小学校に2名、中学校に1名配置し、英語教師と連携した授業を構築しています。</p> <p>小学校3・4年生の外国語活動は、外国語や外国文化に慣れ親しませ学習への動機づけを高め、5・6年生の外国語は、聴く、話す、を中心に、読む、書く、への接続も見据えたコミュニケーション能力の基礎を養うもので、いずれにおいても、外国人とふれあい、英語に親しみ、物おじせず外国人とコミュニケーションをとれるようALTを積極的に活用して授業を行います。中学校でも、新学習指導要領において、対話的な活動を重視し、授業は英語で行うことを基本とするとされており、ALTの必要性が高まっています。</p> <p>「事業等」に記載しています、学習サポートと全国学力・学習状況調査の結果公表については後ほどご説明します。</p> <p>右の枠内にまいりまして、「学校の主な取組」であります。</p> <p>規則正しい生活習慣や家庭学習について児童生徒と保護者に啓発し、教育環境の向上に資するものとして、各学校で作成した「家庭学習の手引き」等に基づき、継続的な啓発に努めています。</p> <p>中学校では、全市での取り組みとして実施している放課後教室以外にも、学校や教科担任毎の取り組みとして放課後の学習会や長期休業中の学習会を実施し、また、一巳中学校区での小中連携事業として、家庭学習強化週間などの取り組みを実施しているところです。</p> <p>これらの中で本市としての特徴的な取り組み内容につきまして、伊藤主幹からご説明いたします。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
伊藤学務課主幹	<p>市教委における学力向上の特徴的な取り組み内容について説明させていただきます。初めに「人的取組」でございます。資料3ページをお開きください。</p> <p>現在、深川市が経費を負担する市費配置教諭のうち、1名につきましては一巳中学校に配置しております。</p> <p>基礎からの積み上げが重要である数学において、複数の教諭によるチームティーチング、数学の苦手意識を持つ生徒への放課後学習や夏・冬休みにおける学習会を実施することにより、それぞれの生徒の学習意欲や態度の向上がみられたことに加え、学級全体においてもその効果が表れております。</p> <p>資料5ページをお開きください。次に、市教委の「事業等」にある学習サポートプログラム事業でございます。学習サポートプログラム事業は、チャレンジ深川と小学校放課後教室及び中学校放課後教室の3つの取り組みを行っております。</p> <p>チャレンジ深川は、これまでの学習内容の振りかえりによる基礎・基本の定着を目的に、小学校における長期休業期間中の学習会でありまして、夏休みと冬休みのそれぞれ3日間、市内全小学校の教室を会場に、各学校の先生方や地域にお住いの退職教員等、多くのボランティアのご協力をいただきながら実施しており、半数を超える児童が参加しております。</p> <p>資料6ページをお開きください。放課後教室は、学習意欲の向上と家庭での学習習慣の確立を目的に小学校と中学校それぞれで開設し、小学校放課後教室では各学年月二回程度、学習指導専門員がサポートをする中で、退職教員の方々が中心となって、学習プリントを活用した学習会を行い、本年度からは全校にて実施しています。</p> <p>資料7ページをご覧ください。中学校放課後教室では、民間学習塾から講師を派遣してもらい、各中学校を会場に、中学3年生を対象として、月二回程度、学習塾が準備したテキストをもとに、数学及び英語の学習を行うものです。</p> <p>また、下段には参考として、学校が行っている主な取り組みを掲載しています。</p> <p>市教委の事業とは別に、各中学校においては教科担任や市費配置教諭による放課後学習及び夏休み・冬休み期間に学習会を行っております。加えて、一巳中学校校区においては、中学校の定期テストに合わせ、テスト前の2週間を家庭学習強化週間と定め、家庭学習の定着を目的にゲームやスマホ等での使用する時間を控えるなど、小中学校が連携した取り組みを行っております。</p> <p>資料8ページにおいては、令和元年度及び過去3か年の全国学力学習状況調査の結果でございます。これまでは、全国平均と比較し、その差を星印で表したものを、公表しておりましたが、本年度より、児童生徒の学習状況や課題等を家庭や地域においても共有できるよう、分かりやすく数値による表示に変更いたしました。</p> <p>資料の9ページ、10ページにおいては、学校での取り組みとして説明させていただきます。冬休み学習会及び家庭学習強化週間における周知文書を添付しております。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査の結果における数値の公表は、令和元年度から深川市全体での数値となっておりますが、参考として学校ごとにおける過去3か年の状況を数値として表した資料をお示しておりますのでご覧ください。</p> <p>以上により、学力向上の取り組みについて説明を終わらせていただきます。</p>
山下市長	<p>学力向上の取り組みについて、事務局の説明は以上であります。テーマに関して各委員さんから、意見や感想をいただければと思いますのでよろしく願いをいたします。まず宮田委員からお願いします。</p>
宮田委員	<p>数字を見ておられますと、子供たちは非常に頑張っているという感想は持ちますし、数年前からこういった働きかけをしてきたことが少しずつですけれども実ってきているのかなという感じはしております。</p> <p>学力の低い3分の1ぐらいの子供たちをどうかさ上げしていくということが、大切なことではないかなと思います。それも1年や2年やってもなかなか数字として見えてこない。</p> <p>やはり小学6年間、中学3年間の合計9年間で子供たちを育てていくというような体制といますか。そういったことが必要になってくるのではないかと考えていますし、また、委員会にしても、その辺のことをしっかりと校長先生なりに伝えて、少し時間をかけて、やっていくことが必要でないかと思っております。</p> <p>また、それにかかわる先生方のマンパワーですが、今の働き方改革としても、なかなか時</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	間的に難しい状況ですので、何とかマンパワーを少しでも補充していくことが、最終的に学力の上昇につながるのではないかなと考えております。以上です。
山下市長	次に定岡委員さんお願いします。
定岡委員	<p>数年前から教育委員会として学校側の取り組みが少しずつ結果になってきているのかなと思っています。今後まだまだ学力向上の取り組みが必要であり、より内容の充実と継続をしていけば、さらなる結果が出ると思っております。</p> <p>内容の充実については、この「人的取組」に関しましても、市費においてより多くの先生をと言いたいところですが、なかなか予算にも限りがあったりしますので、「事業等」の学習サポートのような、良い取り組みをより充実と継続していただくということがよいと考えます。</p> <p>ここは、コスト的にはそれほどかかるところはないかと思っておりますので、活用できる人材をより有効に活用していただくということをやっていただければ、そして、継続していただければより学力向上につながるのではないかなと思っております。</p>
山下市長	次に轡田委員さんお願いします。
轡田委員	<p>ここ数年、児童数がだんだん減少しています。</p> <p>学校を訪問させていただく中でTT（チームティーチング）、いわゆる2人の先生がサポートしながら授業する風景を見させていただきました。</p> <p>数学の授業を見ましても、中学校では習熟度別で授業しているのも見させていただいて、それが少しずつ学力向上につながっているなという思いを持っています。</p> <p>夏休み冬休みに入ってから3日間程度だと思のですが、チャレンジ深川により休み中の勉強に参加をする子供も出ておりました。ですが、もう少したくさん参加してほしいという思いを持っておりまして、これも希望者だけで募集をしておりますので、お家の方が行きなさいって言えば仕方なしに来る子供もいるのだと思うのです。</p> <p>まだ、50%前後でございますので、せっかくボランティアの方などたくさんの方がかかわってくださっているのもう少し受ける人がふえてくれればよいなと思っております。</p> <p>中学校でもこういうチャンスがありますが、参加する子供の比率としては非常に少ないという気がします。時間的なものとか、スクールバスの関係もあるのかもしれませんが、もう少し、利用する子供たちがふえてくれればよいなと思っております。</p> <p>子供たちはよく頑張っている姿が見受けられますので、その辺のことを何とか伸ばしてあげられる方法というのを市のほうからも加配の先生方の支援ということなどで十分にいただければありがたいなと思っております。</p>
山下市長	次に倉本委員さんお願いします。
倉本委員	<p>一已中学校のほうではテストの前の取り組みがあつて、ゲームとかスマホを使用制限したり、家庭学習とか早寝早起きとか親御さんがかかわって、この期間だけは強化週間という取り組みを行い学力向上につながったのではないかなと思います。</p> <p>やはり、教育機関の立場としてやることは大切な役割もありますが、家庭にも子供たちに朝ご飯を食べさせるとか、そういう生活をきちんと見てあげるとか子供に目を向けてあげることが子供の学力を伸ばすということに、つながっているのではないかなと思います。</p> <p>なかなか家庭の事情も、ご夫婦で働かなくてはいけなくて子供が1人でご飯を食べるとか、寝ている間に2人ともいなくなるとか、もしくは片親の方とか、いろいろ事情はあると思いますけれども、その中で子供をいかに勉強や生活習慣をしっかり整えることができるか、ひとりであるとしてもスマホとかにかかわってしまうので、やはり家庭がしっかりしていないと学力は伸びないのではないかなと思うので、そういう親御さんへの指導も考えながら子供の教育につなげていくべきだというふうに感じております。</p>
山下市長	それでは最後に、早川教育長お願いします。
早川教育長	<p>学力の向上につきましては、成果が徐々にではありますけれどもあらわれてきているものと考えております。</p> <p>ただ、いま一步の状況でございまして、今後ともチャレンジ深川を初め、あるいは放課後</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>教室を用いまして、きめ細かな対応を個々の学力や習熟度は違ってまいりますので、全ての児童生徒に対して、そういったものを引き上げる努力が必要だろうというふうに考えております。</p> <p>それともう一方のかなめとなりますのは、やはり各学校、小・中学校において現場の校長先生が学力向上あるいは学力の定着のために、どういった学校経営をしていくかということが1番大切であって、それに対応できる教員の配置というものも必要になってまいりますし、それプラス学習環境の整備ということだと思いますので、今後とも教育委員会としては委員の皆様といろいろ論議をさせていただいて、スケジュールと目標を定めて、それをしっかり達成できるような取り組みを進めていきたいと考えております。</p>
山下市長	<p>それぞれ委員からこれまでの取り組みが成果を生んでいるというか結びついてきているという大変肯定的な発言があったかと思えます。</p> <p>また、それぞれの学校の努力とかあるいは保護者の協力も大事ではないかといったご指摘などもありました。私は、それぞれのご意見に賛同であります。</p> <p>もう一つ、言えば学習サポートプログラムにしても、夏休みなどの長期間の休みに入って3日間ぐらいしかやってないので、3日間が十分かどうかとなると轡田委員も言ったようにもう少し日数があってもいいと思うので、そうすると通う子供たちの割合も上がるのではないかと思います。</p> <p>学力を引き上げる努力をしていくのだという姿勢を示す考え方からすれば、もう少し充実の検討があってもいいのではないかと感じました。そのことを述べて、このテーマについての議論は終わりとさせていただきたいと思えます。</p> <p>次に、2番目です。令和2年度教育予算について議題とします。</p> <p>各委員からそれぞれ意見等をいただきたいと思えます。</p> <p>宮田委員からお願いします。</p>
宮田委員	<p>資料2の1「学校運営の円滑化」の①適応指導教室指導員の配置拡充についてです。</p> <p>学校を長期にわたり、欠席している児童生徒の学校復帰へ向けた指導・援助等を行っている適応指導教室しらかばにおいて、これまで小学生の通級者はいませんでした。本年度途中から小学生1名が新たに通級を開始したため、現在、臨時的に指導員を1名増員して対応しているところであります。</p> <p>発達段階に大きな差がある小学生と中学生の指導には、複数名での指導体制が不可欠でありますので、新年度においても引き続き2名の指導員の配置が必要と考えています。</p> <p>次に、②特別支援教育支援員及び市費配置教諭の拡充についてです。</p> <p>学校現場においては、特別支援学級等が相当である児童生徒が、保護者等の希望を理由に普通学級に就学するケースが増加しております。これらの児童生徒は、特別支援教育支援員による学校生活の介助及び学習活動の支援等のもと円滑に学校生活を送っているものの、児童生徒の支援の多様化が進んでいることから、現状の支援員数に加え、児童生徒の対応の求めに応ずることができるよう支援員の増員が必要です。</p> <p>また、中学校においては、特定の教科で生徒の理解度や達成度に応じたグループ分けにより、確かな学力の育成を図るための習熟度別指導などを行い、生徒の学力向上に一層の成果を上げることが期待できることから、現在1名のみが配置されている市費負担の教員についてもぜひ増員をお願いしたいと考えます。</p> <p>③スクールバスの整備についてです。納内線の車両の更新についてであります。</p> <p>納内線の車両は、平成8年に購入してから23年が経過し走行距離は50万kmを越え、すでに修理用部品供給が途絶えているものです。</p> <p>今年度においてもエンジンに送る燃料の噴射ポンプの故障が発生しており、こちらは修繕可能だったものの、高額な修繕費用がかかっております。</p> <p>また、納内線と同型の車両を利用していた入志別線では、平成30年1月に故障し、修理不能のため廃車となり、同年9月には車両更新となりましたが、新たな車両を調達するまで</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>の期間、運行委託費用に加え、貸切バスによる運行を余儀なくされました。</p> <p>本車両の年式からも、修理することができない故障も想定されることから、遠距離通学児童生徒の負担軽減及び安全な通学の確保からも納内線の車両更新は必要と考えています。</p> <p>続いて2「教育機器、教材・教具の整備充実」の①プログラミング教育の推進について要望いたします。</p> <p>令和2年度から全面実施される小学校の新学習指導要領では、算数や理科、総合的な学習の中でコンピュータを利用しプログラミングを体験する学習活動が取り入れられました。</p> <p>プログラミング教育を実施する目的は、コンピュータを思いどおりに動作させるために、命令の順序だてや繰り返しなどを指示することにより、自分が思い描く結果を論理的に考える力、プログラミング的思考を育むことです。</p> <p>コンピュータ制御で動作する機材などを整備し、実際にプログラミングを体験することにより、その考え方やスキルを習得することができる学習環境の整備が必要と考えます。</p>
山下市長	次に響田委員お願いします。
響田委員	<p>3「学校施設設備の整備」の①一已小学校体育館暖房改修についてです。</p> <p>昭和41年建築の一已小学校の体育館は、昭和58年の校舎改築の際に移築改築を行っております。移築改修後、36年が経過し建物及び暖房設備において老朽化が著しいため、冬の厳しい寒さの中では、室内温度が上がらず、児童が寒さに耐えながら使用している状況です。</p> <p>室内気温が低いと、寒さに耐えるほかに体が温まらないため、体育の授業などで児童がケガをしやすくなることから、冬でも児童が安心して授業等に集中できる環境を整備するため、暖房設備の更新が必要と考えています。</p> <p>次に②屋上防水の改修についてです。</p> <p>平成5年建築の音江小学校、平成8年建築の多度志小学校及び平成13年建築の一已中学校は、建築後17年から25年が経過し、屋上防水のトップコート及びウレタン部分が劣化し雨漏りが度々発生しており、一部にはコンクリートに直接貼っているシート部分も露出しているなど、劣化が進んでいます。</p> <p>特に多度志小学校は、広範囲での雨漏りが見られ、平成28年度予算から要望しています。現状は、補修工事で済みますが、劣化が進むと全面撤去による再整備が必要となり、費用も大きくなりますので、長期的に考えた場合の費用抑制と施設の長寿命化のために、防水補修工事の実施が必要と考えます。</p> <p>次に③多度志小学校体育施設床塗替の改修についてです。</p> <p>体育館の床については、過去に床板の一部が剥離し、腹部に突き刺さり重傷を負う事故が複数発生したことから、平成29年に文科省から日常的な点検、計画的な改修及び補修を行うよう要請がありました。</p> <p>多度志小学校の屋内運動場は平成8年に建築して以来、23年以上改修が行われておらず、床の傷や、ささくれが顕著になっております。</p> <p>床のささくれにより、児童が体育の授業で、また、児童や保護者が学校行事で使用した際にケガをする恐れがあることから、児童や保護者が、安全に安心して使用できるよう床塗替は必要です。</p> <p>続いて④小・中学校非構造部材耐震化事業についてです。</p> <p>市内の小中学校の体育館の主体構造以外の非構造部材の耐震化については、小学校5校、中学校1校において、未着手になっております。</p> <p>体育館には、照明やバスケットボールの非構造部材があり、地震の発生により、これらが落下するようなことがあれば、児童・生徒への事故が考えられるばかりでなく、避難所としての機能が果たせない状態になることも予想されますことから、早急な改修工事が必要です。</p> <p>昨年9月、北海道胆振東部地震が起これり道内各地に大きな被害をもたらしました。その後も、道内各地で地震が発生していることを考えますと、地震はいつどこで発生してもおかしくはなく、非構造部材の落下対策をしておかないと、いざ地震が起こった場合、大事故につながる恐れがありますので、早急な対応を要望します。</p>
山下市長	次に定岡委員お願いします。

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
定岡委員	<p>私のほうからは、スポーツ施設の整備と社会教育施設の整備についてです。</p> <p>まず、1「スポーツ施設の整備」、1番目といたしまして陸上競技場の設備改修です。</p> <p>第3種公認競技場としての公認更新の時期が令和2年となっております。今年度行われております競技を継続的に令和2年度以降も行うためには、必ずこの公認更新に必要な設備がございますので、ぜひともお願いしたいです。</p> <p>2番目、テニスコート改修です。</p> <p>平成5年のオープンから26年以上が経過しております。老朽化による張りかえが必要になっております。こちらのほうは、現在、スポーツの振興基金 toto を活用することを検討していると聞いておりますので、こちらのほうを活用して早急な改修をしていただければと思っております。</p> <p>3番目、桜山パークロード改修です。</p> <p>今年度から3カ年計画で、改修に取り組んでいただいております。引き続きの計画的な改修をお願いしたいと思っております。</p> <p>4番目、その他体育施設の整備です。</p> <p>特に総合体育館、こちらは消防から2点指導がございました防災盤の交換修繕、非常時防火ポンプ作動用発電機の交換修繕、こちらのほうの2点は行っていただきたいと思っております。</p> <p>次は2「社会教育施設整備」です。1番目、中央公民館の建てかえ、今、公共施設などを集約することにより、コンパクトシティに向けた取り組みを進めるための、立地適正化計画を策定されていると思いますが、建設後40年以上が経過しております。建てかえに向けたスケジュールを示していただき、積極的な取り組みを進めていただきたいと思います。</p> <p>2番目、文化交流ホール施設みらいです。建設後15年以上経過しております。こちらも計画的に修繕をして、維持管理をしていただきたいと思います。私のほうからは以上です。</p>
山下市長	それでは倉本委員をお願いします。
倉本委員	<p>私からは3「文化・スポーツ合宿の招致事業の推進」と、4「芸術・文化活動の推進」についてです。</p> <p>まず、文化・スポーツ合宿招致事業の推進でございますが、エフパシオのトレーニング室の整備などにより、エフパシオを中心とした交流人口をさらに増加させるための取り組みを推進していく必要があることから、文化・スポーツ合宿招致を促進に継続的な予算措置が必要と考えます。</p> <p>昨年4月にオープンした施設ですけれども廃校を利用していることから、修繕が必要な部分が多くありますので、利用者が快適に利用できるように改修をしていただければと思います。</p> <p>例えば体育館の暖房ですが、ときどき故障して暖かくなれないという声が聞こえております。あと体育館の照明ですが、ただいま水銀灯でして、これも時代に合わせてLEDにすることが必要だと思います。あと、食堂にカーテンがございますけれども、遮光ではないために虫が入ってくるという声が聞こえておりますし、体育館のカーテンも光が入り競技に支障があるということなので早急に対応していただきたいと思います。</p> <p>続いて4番目、芸術・文化活動の推進についてです。市民がすぐれた芸術・文化に触れる機会をふやすため、アウトリーチ事業と各種公演事業の拡充や、市民みずからが企画招聘する機会を後押しするための予算措置が必要です。</p> <p>文化振興事業として、市民文化事業開催助成金、文化スポーツ派遣事業助成金の継続をお願いいたします。あと、アウトリーチ事業としまして、ただいま小・中学校にすぐれた音楽などの芸術に触れる機会をつくって大変に効果が生まれていると思われまますので、これも続けていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
山下市長	ありがとうございました。そのほかにありましたら、どうぞご意見をいただきたいと思います。定岡委員どうぞ。
定岡委員	<p>学力向上の取り組みで一つ言い忘れたことがございました。</p> <p>学校の主な取り組みというところのゲーム・スマホ使用についてです。</p>

会議の概要（発言の趣旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>保護者の立場としての意見もありますが、どの家庭でも、このゲームとスマホにどううまくつき合っていくかということをしごく悩んでおります。</p> <p>これは、どの保護者と話してもそういうお話はあります。今年度、大手IT企業の役員がどこかの小学校で講演をしたと私は認識しておりますが、そういう学校単位で取り組むということも必要でしょうが、深川市で何か取り組むことができれば、かなり助かる保護者は多いのではないかなと思っております。</p> <p>それぞれの学校での取り組みというよりは、深川市全体的に取り組んでいただけたら、よりいいのではなかろうかと思っております。</p>
山下市長	宮田委員どうぞ。
宮田委員	<p>教育委員会の関連ではないですけど、せっきくの機会ですので父母からの声をお伝えします。</p> <p>学童保育の関係でお母さん方が助かっていることや、あるいはもうちょっと時間を延ばしてほしいという声があること、学童の中身を学校と同じような流れに沿うことができないだろうかということをおっしゃいました。</p> <p>もう1点、せっきくの機会なので全く関係ない話ですけども、きのうの話です。ある人が1歳1カ月の赤ちゃんが風邪をひいて旭川の病院に入院したと。それで退院をして、連れてきて次の日にまた入院になってしまったと。そういった話が親御さんから聞いたものから参考までに話題提供いたしました。</p>
山下市長	<p>各委員よりいただきました貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>ちなみに、来年4月から深川市立病院に女性の小児科医が常勤医師として赴任ことがほぼ内定いたしました。常勤の医師ですが1人しかいませんので重篤な患者さんを入院で受け入れるということにはなりませんけれども、重篤ではない病状の場合は、入院患者さんを受け入れられるように4月からはなる予定です。ほかにございますか。</p>
	(特になし)
山下市長	よろしいでしょうか。それでは以上を持ちまして総合教育会議を終了させていただきます。お忙しいところありがとうございました。